

所属	人間社会学部 心理コース	職名	教授	氏名	吉岡 和子
----	--------------	----	----	----	-------

## 1. 教員紹介・主な研究分野

2004年3月に九州大学大学院人間環境学府博士後期課程を満期退学。臨床心理士として、病院（精神科）、保健福祉センター、学生相談室などに勤務後、2006年10月に本学に着任しました。2007年2月に九州大学より博士（人間環境学）の学位を授与されました。

主な研究領域は、①対人関係における自己表出の在り方に関する研究②アサーショントレーニング・プログラムの実践研究③心理アセスメントを用いた本人や家族への心理的援助に関する研究です。

## 2. 研究業績

### ①最近の著書・論文

<著書>

- ・吉岡和子（2019）「今の子どもたちの友だち作り（特集 今の子どもの対人関係）」『教育と医学』67(5), 394-399.
- ・吉岡和子（2019）「7章 地域社会・保護者との連携」『キーワード 生徒指導・教育相談・キャリア教育：子どもの成長と発達のための支援』小泉令三・友清由希子編 北大路書房.

<論文>

- ・吉岡和子・野口彩夏（2018）「親との心理的距離及び子どもの夫婦関係の認知と「頼れる感」の関連」『福岡県立大学心理臨床研究』11, 33-41.
- ・西川菜月・吉岡和子（2018）「大学生に対するアサーションに関する授業の教育効果の検討ーコミュニケーション場面における安心感・信頼感に注目してー」『福岡県立大学心理臨床研究』11, 15-32.
- ・児玉恵美・吉岡和子・石坂昌子（2018）「バウムテストの特徴および描画説明とレジリエンスとの関係」『健康科学研究』2, 11-25.
- ・小野田瑠璃・吉岡和子（2017）「家庭における居場所感と家族とのコミュニケーションの関連」『福岡県立大学心理臨床研究』9, 13-26.
- ・寺嶋 愛・吉岡和子（2017）「母親の情緒的関わり、母娘の絆と娘の安心感、本来感および「いい子」との関連」『福岡県立大学心理臨床研究』9, 35-48.
- ・米倉志穂・吉岡和子（2017）「容姿についての悩みと親子関係の関連ー容姿に対する被評価経験、養育態度及び信頼感に着目して」『福岡県立大学心理臨床研究』9, 57-63.

### ②その他最近の業績

<学会発表>

- ・Kazuko Yoshioka, Ayaka Kuwabara, Emi Kodama（2019）「Comparison between Japanese and Korean college students regarding hierarchical relationships」ECP 2019 (Moscow) .
- ・福田恭介・吉岡和子・小山憲一郎・中藤広美・中村恵美子・酒井志織・三原佑未・香月眞美（2018）「ペアレントトレーニング手法を用いた保育者・教師のためのスキルアッププログラムへの参加形態による子どもへの態度変容-子どもへの関わり・子どもの問題行動の頻度と困り感に着目して-」第79回九州心理学会（長崎大会）
- ・藤原沙貴・吉岡和子（2017）「自己愛的脆弱性と友人関係機能の関連性ー支援性に注目して-」第78回九州心理学会（佐賀大会）
- ・Kazuko Yoshioka, Haruka Nakamura, Emi Kodama, Masako Ishizaka（2017）「Comparing Japanese and Koreans awareness about the psychological distance between university students and their parents」ECP 2017 (Amsterdam) .

### ③過去の主要業績

<著書>

- ・高橋紀子・吉岡和子編（2010）「心理臨床，現場入門：初心者から半歩だけ先の風景」ナカニシヤ出版.

・吉岡和子・高橋紀子編（2010）「大学生の友人関係論：友だちづくりのヒント」ナカニシヤ出版。

<論文>

・吉岡和子（2007）「友人関係での自己表出における葛藤」『心理臨床学研究』24（6），日本心理臨床学会。

・吉岡和子（2002）「友人関係の理想と現実のズレ及び自己受容から捉えた友人関係の満足感」『青年心理学研究』13，青年心理学会。

### 3. 外部研究資金

### 4. 受賞

### 5. 所属学会

九州臨床心理学会 日本人間性心理学会 日本青年心理学会 日本心理臨床学会  
日本教育心理学会 日本ロールシャッハ学会 日本パーソナリティ心理学会  
日本精神分析学会 九州心理学会

### 6. 担当授業科目

<学部>専門職連携入門・1単位・1年・後期（分担），心理実習I・1単位・2年・通年（共同），  
心理学的支援法・2単位・2年・後期（共同），公認心理師の職責・2単位・2年・後期（分担），  
心理面接演習・2単位・3年・後期（共同），心理アセスメント・2単位・3年・後期（分担），  
家族心理学・2単位・4年・前期，教育相談（幼児教育）・2単位・4年・前期，演習・2単位・  
3年・通年，卒業論文・6単位・4年・後期

<大学院>家族関係・集団・地域社会における心理支援に関する理論と実践・2単位・1・2年・  
前期，臨床心理基礎実習A・1単位・1年・前期，臨床心理基礎実習B・1単位・1年・通年，臨  
床心理査定演習・2単位・1年・後期，臨床心理実習・1単位・2年・通年，心理実践実習A・10  
単位・1-2年・通年，心理実践実習B・2単位・1-2年・通年，特別研究・4単位・1-2年・通年，  
精神看護アセスメント論・2単位・1-2年・前期（分担）

### 7. 社会貢献活動

- ・一般社団法人 福岡県臨床心理士会 事務局長
- ・日本ロールシャッハ学会 理事／教育・研修委員会委員
- ・一般社団法人 日本心理臨床学会 代議員
- ・NPO法人九州大学こころとそだちの相談室 理事／相談員
- ・福岡女学院大学 心理査定委託相談員

### 8. 学外講義・講演

- ・福岡県女性相談所 婦人保護事業新任者研修「DV相談と支援」6月13日
- ・福岡県市町村職員研修所「カウンセリング・マインド養成研修」9月2-3日
- ・令和元年度教職免許状更新講習会「『子どもの心』をはぐくむための関わり方」（岩橋宗哉教授と共同担当）8月21日
- ・「自分も相手も大切にするコミュニケーション」大分県立中津北高等学校 10月11日
- ・北九州LD等発達障害親の会 すばる勉強会 1月26日
- ・「自分も相手も大切にするコミュニケーション」飯塚高等学校 2月17日

### 9. 附属研究所の活動等

<生涯福祉研究センター>

- ・お父さんとお母さんの学習室（ペアレントトレーニング）の企画と運営

<心理教育相談室>

- ・相談室委員
- ・相談室紀要編集委員幹事

※「教育・研究・社会貢献活動一覧」とは別に、大学のウェブサイトには「教員紹介」を掲載しております。この「教員紹介」では、各教員の主な研究内容（3項目に限る）と保有学位も掲載しています。  
このため、上記様式とは別に、次の内容も併せて回答頂きますようお願い致します。

（研究内容）

1. 対人関係における自己表出の在り方に関する研究
2. アサーショントレーニング・プログラムの実践研究
3. 心理アセスメントを用いた本人や家族への心理的援助に関する研究

（保有学位）

博士（人間環境学）